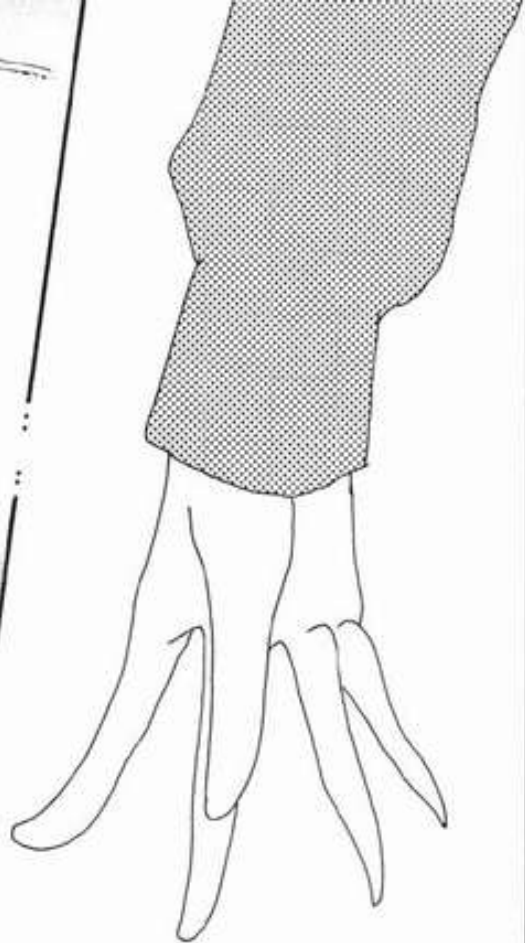



*The Plastic Moon*  
Fate/stay night

+ for Adult Only +






『降り立つ風には壁を。  
四方の門は閉じ、』



『王冠より出て、王国に至る  
三叉路は循環せよ。』

『素に銀と鉄。  
礎に石と契約の大公。』



『祖には我が大師 シュバインオーグ。』



『閉じよ。』



『閉じよ。』



それでも  
細心の注意を



『閉じよ。』


『閉じよ。』



『閉じよ。』

最強の  
サーヴァントを  
召喚する為に





『繰り返すつどに五度。  
ただ、満たされる刻を破却する』

じぎ  
午前二時

召喚の陣は  
描き終えた

失敗なんて  
承知しない

セット  
『Anfang』

わたしの中にある  
カタチのないスイッチを  
オンにする

かちりと体の中身が  
入れ替わるような感覚



通常の神経が反転して  
魔力を伝わらせる回路へと  
切り替わる

これより遠坂凜は  
人ではなく  
ただ一つの神秘を成し得る  
為だけの部品となる

ちゅん——ん!!

「わかっていたい  
どっこの状況なのよおー!!



何故?

やっやっやっ

何故とは  
心外だ  
マスター

これは  
君自身が  
招いた事態  
なのだから

な何故!?  
こ……こんなゴト!



君の不完全な  
召喚のせいで  
私の記憶は  
混乱している

その事で  
不都合はまあ  
ない訳なのだ



そそれについては  
わたしにも  
責任があるのは  
認めるけど……



だからと言って  
サーヴァントが  
マスターに対して  
こんなこと



こんなこと  
してっっ

ただで済むと  
思ってるの?  
やめなさいっ!!





やはり  
君はなにか  
誤解している



むむ。



ここんなっ……



こんなコトでっ  
ゆ 優位に立てると  
思っ……てるの？



百万年早いのよっ  
……こつちには……れ  
令呪が……  
あるんだからっ!!

な何を  
誤解してるって  
言うのよ……

そんな……  
そんなコト  
言ったって……

私は君を護り  
戦うものだマスター  
害するものではない

あっ!?  
…ファーストキス  
なのに!

こんなのって  
アリなの!?

じゃなんだって  
こんなコト  
するのよっ!!

我々の為だ

より堅固な関係を  
結びささいな

不安を払拭  
する為に——

詭弁よっ  
そんなのっ!  
だってコイツは  
このサーヴァントはっ

素に銀と鉄。礎に石と

契約の大公。祖には我が大師

…閉じよ。閉じよ。閉じよ。

度五にどつす返り繰

セツト  
— Anfang —

まるで  
王様のように  
ふんぞり返って

主を主とも思わない  
無礼な物言いと  
高飛車な態度

ほんの数時間前に  
わたしの前に  
（いやより正確に  
言うのなら）  
居間をぶち壊して  
現れた

その  
傍若無人の  
振る舞いに思わず  
奥の手を  
使ってしまった  
けど

——カニ





あつ

……こんなっ……あ  
わたし……いやっ

やつやめてっ  
やめなさいっ

その  
魔力の大きさに  
比例した  
圧倒的な  
存在感



主と認めさせたのは  
奇跡に近い  
僥倖だ

その命令は  
有効ではないな  
マスター

な何故!?

君の本心からの  
言葉ではないからだ

そんな……そんな  
コト……な……



信じられない  
でも  
あらがえない

——そう  
すべては  
聖杯戦争に  
勝利する為

その為に  
わたしは召喚し  
彼は応えた  
それだけの関係

なのに  
わたしは  
彼に  
惹かれてる

あの  
傲岸不遜な  
態度に——  
皮肉な口をきくけれど

わたしを  
真つすぐに  
見据える瞳の  
あかるさに——

お父さま！



勝利か  
死のみが待つ  
聖杯戦争

私に供給される  
魔力量には  
いささかの  
問題はない

それどころか  
増してさえいる気が  
するというのが

どうして  
本心であると  
思えるのだ？

マスター サイバント  
主と使い魔  
令呪の制約が  
なければいつ  
離反されても  
おかしくない関係

ん？

なの——

!!

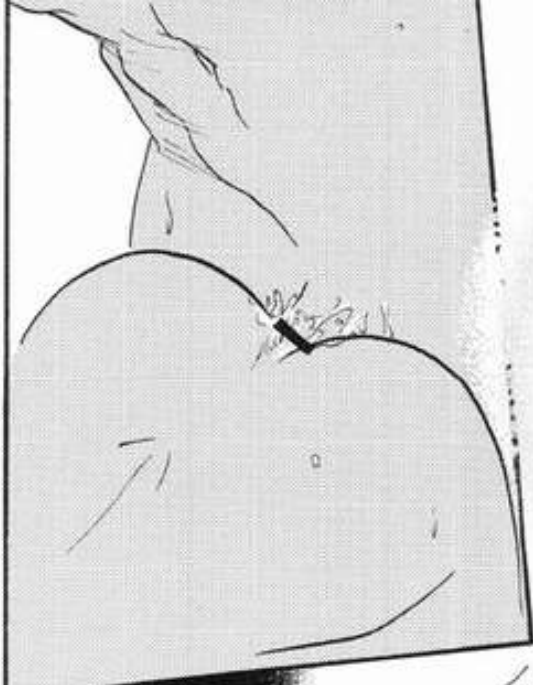
服くらい  
脱ぎなさいよっ!!

ニ  
ヤヤ












サーヴァントと  
こんな形で  
つながって  
しまうなんて



たぶん  
わたしは  
おかしくなっ  
ているのだ

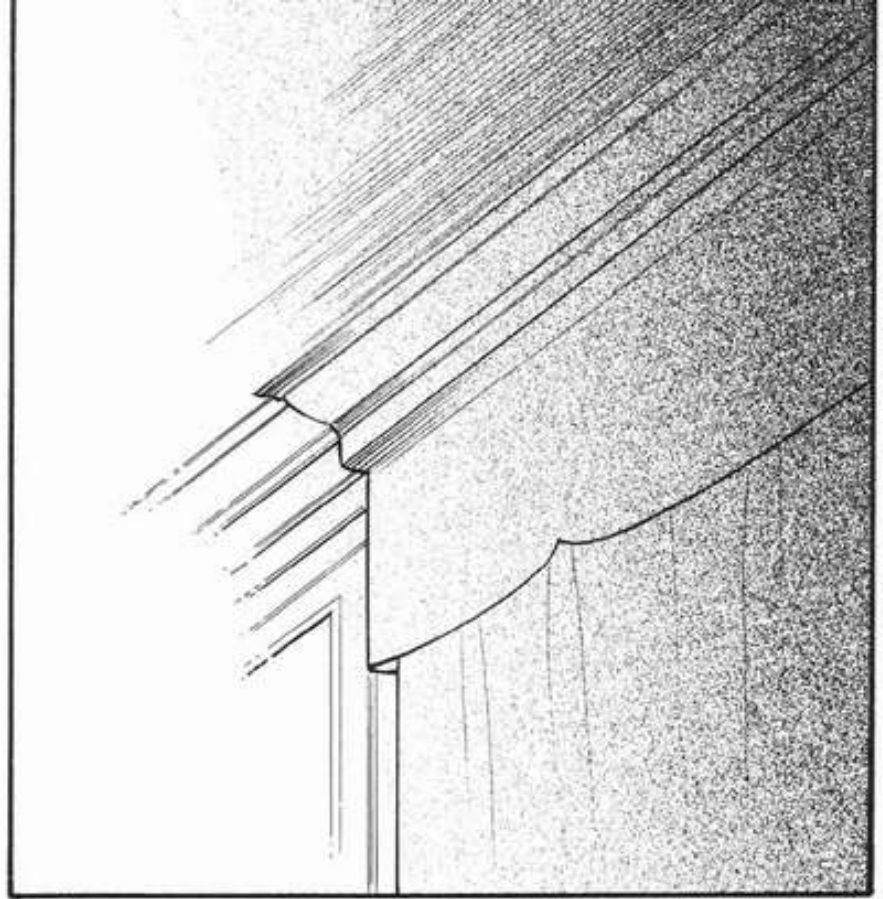


こんな  
気持ちに  
なるなんて



アーチャーを  
失いたくないと  
考えて  
しまうなんて





アーチャー?

んっ



…死んじゃ…  
ダメよ……

アーチャー！

乙女の寝顔を  
のぞくなんて  
マナー違反！



すうすう



全力をもって応えよう

と  
得がたい貴女よ

逃げて  
アーチャー！！



何でもない

強い  
わたしの攻撃  
なんて  
ぜんぜん  
効いてないっ!!

わたし  
死ぬの——？

ああ  
でも  
何て——





まだ出会っていない  
四組——

ランサー

セイバー

わたしの  
アーチャー

これで  
七人と七騎  
すべてのカードが  
出揃った

負けられない  
わたしだって！

聖杯戦争は  
始まったばかり  
なのだから



Fate/stay night Fan Book  
--- The Plastic Moon ---  
For Adult Only